

事務作業の効率化による職員の負担軽減

【事業所名】はるにれ
【提供サービス】
児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援

導入機器の内容

- ・タブレット 3台
- ・スマートフォン 3台
- ・wifiルーター 1台
- ・ソフトウェア（アルバトロス）



事業所が抱える課題

- ・十分なPC台数がなく、入力作業は交代しながら行っている。記録業務も手書きが多く、時間もかかっている。
- ・保護者との連絡（欠席・遅刻等連絡、連絡帳のやり取り等）は電話や連絡ノートなどで行っており、手書きの記入に時間がかかったり、電話は営業時間中のみしか連絡できず、制限がある。
また、出欠など急な変更が生じた際、社用携帯やタブレットがないため、送迎中等の職員と情報共有ができていなかった。
- ・インターネットを活用した教材を使用したいが、個別対応の部屋にwifiやタブレットがないためできない。

ICT機器等を導入した業務内容

- ・ソフトウェアを導入し、利用予定の管理、記録作成、送迎管理、請求業務を行う。
- ・LINE WORKSを活用し、PC・タブレット・スマートフォンの全てで閲覧できるようにし、職員間の情報共有を行う。
- ・公式LINEのアカウントを作り、保護者へのお便りや連絡事項を一斉配信する。また保護者からの欠席連絡や、家での様子などもいつでも送受信できるようにする。
- ・タブレットでの教材を使用し、個別に療育する。

事務作業の効率化による職員の負担軽減

【事業所名】はるにれ

【提供サービス】

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援

導入の効果

- ・ 職員の事務作業の短縮とペーパーレス化が図れ、職員の負担も減った。
- ・ 職員間の情報共有や保護者との連絡がスムーズになった。

【年間業務時間削減率：71.3%】

これにより確保できた時間を、児童との直接的ケアに活用した。

【年間作成文書削減率：52.9%】



療育での様子



児童と外出時の様子

職員の声

<良かった点>

- ・ タブレット導入により、同時に入力などの作業できる人数が増え、作業時間の軽減に繋がった。また、タブレットとスマホのテザリングを利用し、サテライトでの入力作業やインターネットでの教材閲覧なども可能となった。

<ほかに導入したい機器等とその理由>

- ・ タブレット入力時のキーボード(Bluetooth対応)を導入したい。(タブレット内のキーボードより、入力しやすく入力時間が短縮される可能性があるため)